

月報	日本キリスト改革派 横浜中央教会	2016 年 9 月 11 日 9 月号
-----------	-----------------------------	---------------------------------

連合執事会当番教会

A. H

主の御名を賛美致します。

東部中会内の組織の一つに連合執事会というものがあります。この組織は東部中会に所属する全ての教会執事会を連合する組織となっており、その目的は日本キリスト改革派教会執事としての責任と義務をわきまえ、相互の交流をはかり、東部中会諸教会の健全な成長と発展に奉仕することとなっています。連合執事会は当番制で運営されており、今年は当教会執事会が当番教会として、その運営を行っています。通例として、年間3回の定例会及び総会を行っており、今年の活動は以下の通りとなっています。

- ①総会 2月14日(日) 場所：横浜中央教会
 テーマ：「現代における執事の役割1」 立石章三教師
 2015年度活動及び会計報告、2016年度活動予定及び予算案、等
- ②第1回定例会（連合長老会合同）日時：5月29日(日) 場所：東京恩寵教会
 テーマ「青年伝道」 大島重徳牧師（K G K 総主事）
- ③第2回定例会 日時：7月31日(日) 場所：東京恩寵教会
 テーマ：「さくらハウスの現況と今後の展望」ラウアー恵子（さくらハウス）
- ④第3回定例会 日時：10月30日(日) 場所：横浜中央教会
 テーマ：「現代における執事の役割2」 立石章三牧師

第2回定例会までは主のお守りと支えの中で無事に終えることができました。また第3回定例会は当教会の新しい増築会堂にて行うことを予定しています。参加は執事に限っていませんので、ご都合のつく方はぜひご参加頂ければと思います。来年以降の運営方法については、現在、連合執事会および中会執事活動委員会の中で議論がなされています。このまま当番制を継続するのか、それとも選挙によって役員を選び、その役員で運営する方法に変更するのか、それぞれ一長一短がありますので、祈りと議論を重ねる中で適切な方法を検討していければいいのかなと思います。個人的には、この当番教会での運営を通して、他の教会執事会にも思いを向けることができ、また連合執事会という組織、目的、運営方法等について考える機会が与えられ感謝しています。来年以降の運営方法を検討していく中で、よき知恵が与えられるようお祈りに覚えて頂ければ幸いです。

以上

はじめまして（自己紹介）

O. J

あっちにいたりこっちに来たりと定まることのない生き方を見守られてきた一頭の羊が、1年半前やっと信仰告白を機に新たな人生を歩み始めることになりました。ここまで60年間かかりました。導いて下さった神様に感謝します。

私の両親、そして母方の祖父母（母以外はすでに召天）はクリスチャン。それも改革派教会の信者でした。今の教会のように保育室もない時に両親の意志で幼児洗礼を受けた私は、説教中もあっちこっち走り回り、親を手こずらせる子供だったようです。それは、ある意味「大人になってからも」ずっとそうだったと言えるかもしれません。

小学校を卒業するまでは香川で、その後、高校卒業まで函館（改革派がなかったため、日本基督教会）で過ごし、そこまでは、余程のことがない限り、教会学校、礼拝は欠かしたことはありませんでした。そんな私がなぜ教会に行かなくなったのか。そこには自分なりの屁理屈はあるのですが、今となっては自分の誤りを認め、懺悔しなければなりません。

再び教会に導かれたのは、年老いた母をアテンドすることからでした。現在、実家のある香川で施設と病院の入退院を繰り返している母ですが、今よりもう少し元気だった頃は、日曜日には教会に連れて行く必要がありました。私が幼児洗礼を受けた教会なのですが、自分自身の生き方が後ろめたかったのか、教会長の皆様が優しく接して下さっても、とても敷居が高く、すぐには溶け込めなかったことを思い出します。

その後、徐々に教会の雰囲気にも慣れて？きた頃、「そういえば両親が横浜に来た時に、礼拝に出席していた改革派の教会があったような」ということを思い出し、調べたところ中央教会が今の住居の近くにあることがわかったのです。長い間、教会からは離れていましたが、都度、自分自身の力で生きているのではなく生かされていること、またいつも自分自身が守られていると感じていました。もう一度、一からキリスト教に触れてみようと考えました。そして、いろいろな疑問がありましたが、礼拝に出席すると、その中で必ず答えが示されるのでした。

この数カ月、香川にいたことが多くなりました。購読しているREJOICEで、毎日少しずつ聖書の箇所を読むのが楽しみです。また、子供用に「いのちのパン」というページがあるのですが、本当にわかりやすく楽しく御言葉を学ぶことができます。横浜でしかできないことが多く、それがストレスに

なることもありましたが、今は、このような時間を与えて下さっている神様に感謝の気持ちでいっぱいです。

ただ今奮闘中です

N. T

三年間保育助手として0歳～6歳までの子ども達と楽しく過ごしてきましたが、年長クラスの子と遊ぶのは無理かもと考えていた頃、調理室で働きませんか？と声を掛けてもらいました。食べることも作ることも好きなので二つ返事で引き受けました。

そういう訳で調理室で見習い中ですが主婦歴36年の実績など何の役にも立たず、我が家の何倍もの量の食材の下ごしらえや、作ったことのないメニューは先輩調理師指導のもと、習うより慣れろをモットーに日々働いています。

調理で緊張するのは増えているアレルギー見の給食・捕食の調理です。「卵、小麦、乳、大豆」(表示義務のあるものは他23種類)、その食品だけでなく添加物として使用されていないかなど確認しながら離乳食、普通食、それぞれのアレルギー抜き食事を作ります。

毎月のメニューの作成、食育(2歳児から)、幼い時からたくさんの食品をバランスよく摂取するように工夫する管理栄養士の仕事を見ながら働けることは勉強になりますし、楽しいです。

たとえ、今まで出来たことが出来なくなっても別の道を用意して下さる方に感謝しつつ、美味しい給食を作ります。

見よ、主は御目を注がれる、主を畏れる人、
主の慈しみを待ち望む人に。

詩33：18